TERRAとも
NPO 法人　地球市民友の会

第 １８ 号
2015(平成２７)年 10 月
NPO 法人地球市民友の会
藤沢市高倉 258 東勝寺内
☎0466-44-7570

FAX：0466-44-0452　E メール：npo.terratomo@gmail.com　HP：http//www.terratomo.com

“お泊り会”は楽しかった！

夏の行事「お泊り会」（お寺に泊まろう！）が、８月２２（土）、２３（日）の二日間、東勝寺でにぎやかに開催された。「お泊り会」は地域に住む子供たちが国籍を超えて、一泊二日の共同生活をすることで国際交流や相互理解を図る事業として実施しているものである。今回は２４人の小学生の参加を得て賑やかに開催できたが、外国籍市民の子どもたちの参加がなかったのが残念だった。来年は国際交流の場としてのお泊り会になるよう PR していきたいと考えている。

＜参加した子どもたちの感想より＞

・花火は楽しかった。肝試しはこわかった。そうめんはおいしかった。

・きもだめしは水てっぽうで水をかけられてきもちよかった。朝食のおかゆとふりかけはおいしかった。

・スイカ割りで一発でかんたんに割れました。ながしそうめんでそうめんのなかにフルーツがいっぱいながれてきました。

・スイカわりのときに一ぱつで、われてうれしかったです。じぶんでわったスイカは、たべられなかったけれど、とてもたのしかったです。らいねんも　またきたいです。

・心にのこったことは、バーベキューでいっぱいたべたことと、花火がきれいだったことと、きもだめしでこわくていけなかったこと。

・はじめは２，３人しか知っている人がいなかったけれど、どんどん友達が増えました。スイカ割りでは、はじめてスイカを割ることができました。夏休みのいい思い出となりました。

・バーベキューでお肉を食べたり、きもだめしをしたり、こわかったり、楽しかったり、はじめて、ながしそうめんをしたり、ざぜん、きもだめしをしたり、おともだちといっしょにあそんでなかよくなったり、楽しいおとまりになりました。またらい年もきたいです！！

・１番楽しかったのはスイカわりです。理由は景品をもらったからです。来年は中学生なのでこれないけどはじめてお寺にとまったので印象にのこりました。

＜学生さんの感想より＞

・可愛い子供達と２日間一緒にすごせたことで　とても充実した夏休みになったと思います。疲れたり怒りそうになったりしたけれど、それでも子供の笑顔をみると、すべてふっとんでしまいました。とてもたのしか

ったです。来年も参加したいです。

・子どもたちの人数が、毎年よりとても多くて驚きました。２日目の参加でしたが、例年より食欲おうせいな子がいたのか、そうめんがすぐなくなり、、こどもたちの元気さを感じました。昨年、１人で肝試しに行けなかった子が、今年は１人でいけるようになったと聴きました。１年の成長を感じました。

・身近なところからボランティアしてみようと思っていたので、とても良い経験ができました。久々に小学生を相手にし、完全に体力をうばわれましたが、じゅうじつした２日間をすごせました。相手の目線になって話すことや大人数をまとめることなど今後の役に立つことが多く本当によい時間でした。ありがとうございました。

小学生が寺で1泊

肝試しや坐禅を体験

NPO法人地球市民友の会（黒澤宗剛理事長）は8月22日と23日に、高倉の東勝寺で恒例行事「お寺に泊まろう！」を開催した。

8回目を迎えた今年は、藤沢市のほか、鎌倉市や町田市などの小学2年生から5年生までの児童24人が参加。地域の人や文教大学の学生も手伝い、1泊2日の共同生活で交流を深めた。

初日はバーベキューや花火を楽しんだ後、墓が並ぶ寺の周りを歩き、目的の物を持ち帰る肝試しを体験。それぞれが怖がりながらも賑やかに楽しんでいた。

翌日は朝6時から境内や本堂などの清掃をし、同寺の住職でもある黒澤理事長から作法を学んで手作り粥の朝食をとった。その後、坐禅で心を落ち着けた。昼にはすいか割りや流しそうめんなども行われた。

同法人は日ごろ地域に住む外国籍の人を対象にした日本語教室や生活支援を行っている。同行事にも例年、外国籍の子どもの参加が目立ち、日本の子どもたちとの国際交流と相互理解の場としているが、今年は日本人の児童のみだった。

同法人メンバーは「これまでは南米の子どもの参加が多かったが大きくなり、今年は世代交代の時期。日本語教室にはアジア系の子どもが増えてきているのでその子たちが大きくなる2、3年後にはこの行事にも参加するのでは」と話す。また、「日本の子どもたちにとっても、元気な声を上げてのびのびと遊べる場が減る中で、貴重な行事だと思う」と話した。

食事五観文を上げ、本堂で粥の朝食をとった

タウンニュース藤沢版８月２０日号にお泊り会が掲載された

・子どもたちの純粋さにいやされました。肝試しの驚き方が特に可愛かったです。学年も小学校も違って性格も様々でしたが、皆仲良くしていて良かったです。

・ここに来るまで、子ども達と上手くなじめるかどうかとても不安でしたが、たくさんの子ども達といろいろなアクティビィティを共にすることができ、本当によい思い出となりました。また、多くの場面でお手伝いさせていただき、とてもやりがいを感じました。ありがとうございました。

・撮影の合間合間でしたが、肝試しのお化け役など小学生の頃に戻った気分で楽しめました。子ども達がかわいかったです。

ことばカルチャ

世界に誇る「お・も・て・な・し」｜「おもてなし」の語源とは？

行列の苦手なイタリア人が８時間も並ぶという食をテーマとしてイタリアで開催中のミラノ万博。「入場かなわぬ夢」とまで現地メディアが報じた日本館でのこと。日本食の人気は世界的になってきたのだろう。

日本食の「うまみ」や「だし」という日本語もそのままで使われ、関心が高まっている。また、日本館の盛況ぶりは、食だけでなく日本人の心の一つ「おもてなし」に代表されるような日本文化への興味関心の高まりも影響しているのだろう。

言葉どおり「客をもてなす」の「もてなす」のていねい語です。**「もてなす」**の語源は、**「モノを持って成し遂げる」**からきていて、お客様に応対する扱い・待遇のことを指します。もう一つの語源は、**「表裏無し（おもてうらなし）」**で、その言葉どおり**表裏がない心**でお客様をお迎えするという意味もあります。二つが合わさり「おもてなし」ができたといいます。

夏の風物、流しそうめんを満喫！

９月の恒例行事になった「流しそうめんを楽しむ会」は９月１９日（土）、東勝寺境内で実施された。NPO 地球市民友の会の日本語友の会や学習教室の児童生徒、先生、親や NPO 関係者が集まった。最近では夏の風物である流しそうめんを楽しむ機会や場所が少なくなってきたこともあり、なかなか好評である。長い孟宗竹でこしらえた樋を流れ下るそうめんを箸でお椀にすくい取って食べる。みんなでワイワイ！　参加者は夏の風流を満喫し、お腹も満腹になったようだった。

冷水を　くだるそうめん　はしでとる

メキシコからのメール＃５

この欄はメキシコ在住の世界的マリンビストの古徳景子さんに寄稿していただいていますが、今回は景子さんのお母様、古徳知子さんに書いてもらうことになりました。休眠楽器をメキシコに贈るというプロジェクトに取り組まれた秘話を披露してくださいました。

善意の実り

♪休眠している楽器たち 無事メキシコに到着♪　　古徳　知子

娘・マリンビストの古徳景子は、2009 年から、メキシコのウニカチ大学で教鞭をとっています。現地の学校を視察して、１つの楽器を何人かで使うほど、楽器が不足していることを目の当たりにしました。

メキシコの子どもたちのために、帰国のおり、学校関係者やコンサート会場で、楽器の寄付を呼びかけました。

幸いなことに、鉄琴・マリンバ・大太鼓・コンガ・ピアノ・鍵盤ハーモニカ・ギター・日本太鼓などの楽器が集まりました。

新品同様の物や、恩師である有賀誠門（あるが　まこと；東京藝術大学名誉教授・元ＮＨＫ交響楽団ティンパニ奏者）の段ボール４箱分の貴重な楽譜もあります。収集は順調に進みましたが、メキシコに輸送するまでは二の足を踏みました。

「寄贈された楽器なので、輸送も無償で引き受ける所を探してみてはどうか」と、ボランティア活動の知人から助言を受けました。確かに、古徳景子が楽器大使なら、輸送大使も考えられると思い、メキシコと関係のある運輸会社や、日墨関連の日系会社に打診しました。しかし、良い結果は得られず、企画は暗礁に乗り上げ、楽器は、つくばの実家に３年も眠りました。

思いあぐねて、竹馬の友であるヤマトホールディングス社の会長・木川眞さん（きがわまこと；当時は社長）に、「立場を知った上でお力を貸して下さい」と手紙を認めました。

ヤマト運輸創業者・小倉康臣（おぐら　やすおみ 1889-1979）氏の奉仕精神に沿うと思われたのか、快諾の返事がきました。話しは進み、海外部門のヤマトロジステックス社が楽器を引き取りに来ました。

しかし、東京税関から、送り主が、古徳景子個人では難しいことや、ワシントン条約に抵触する楽器が有るので、楽器メーカーの証明書がなければ、輸出許可は下りないと言われました。困っている所に、ＮＰＯ法人地球市民友の会が、送り主（Shipper）を引き受けて下さいました。楽器メーカーは事情を察して、快く証明書を発行。メキシコ大使館にも足を運び、書類を揃えるのに 2 年もかかりました。その間、ヤマト宅急便の車を見るたびに心は痛みました。

こうして 5 年越しのプロジェクトは、日本とメキシコで携わった人々の善意で実りました。感謝です！　日本で不要となって眠っていた楽器（総数 71 個）が、メキシコの子供たちによって生かされる、こんな嬉しいことは有りません。ＮＰＯ法人地球市民友の会の皆様、有り難うございました。

また今秋、日本公演で共演者と帰国した際、ウニカチ大学とヤマトホールディングス社をテレオフィスで結び、9 月 9 日、感謝セレモニー行いました。地球市民の会からは、稲川文雄さんが出席して下さいました。

皆さんお力を貸してください。

☆ふれあいコンサートのスタッフ、ＭＩＮＴＯＭＯ交流会でのおもちつきや配る係、年末国際交流会の会場づくりや運営スタッフのボランティアスタッフを募集しています。ご協力よろしくお願いします。ＦＡＸかＥメールでご連絡ください。

（FAX：0466-44-0452　　E-mail：npo.terratomo@gmail.com）

☆TERRA とも会報の編集スタッフを募集しています。

これからの主な行事・お知らせ

☆国際フェスティバル　　１１月　８日（日）１１時～　（サンパール広場）

☆ふれあいコンサート　　１１月２０日（金）１８時半開演（東勝寺）

ギターアンサンブル「Twinkle」

☆ＭＩＮＴＯＭＯ交流会　１２月　５日（土）１０時～　（湘南台公民館）

☆年末国際交流会　　１２月２７日（日）１８時～　（東勝寺）

※詳細は別途チラシでお知らせします